議会報告会での意見・要望等　≪地域との意見交換分≫
【分類２であり、類似のものは集約】

〇コロナ禍を乗り越えるための地域コミュニティーづくりに関すること（新型コロナウイルスについて）

・コロナの感染者数しか公表されず、年齢層が分からないので、どの年代も誘うことが出来ず行事を中止することもある。【三川】
・感染者が増えているが国は行動規制をかけず、地方自治体での判断が難しい状況。そのような中で地域行事を行うことを心配している。行動規制のない中で、各々でやるのが難しい。【三川】
・子ども食堂については、新型コロナウイルス感染症拡大により、過去２年間運営出来なかった。今年５月から始めたが、子供たちを一つの部屋に集めて食事させるためコロナ感染症対策には十分注意している。コロナ感染症対策でコミュニティーセンターに水道設備の増設や換気扇の設置等について助成してほしい。【北別館】
・新型コロナウイルスワクチン接種の４回目の予約が出来ず、先の日程になってしまう。もっと早く接種できるようにして欲しい。【三川】

〇コロナ禍を乗り越えるための地域コミュニティーづくりに関すること（地域活動について）

・新型コロナウイルスの影響で校区行事が安定しない中、災害も起こっている。スマートフォンが使えない方が地域には多いためスマホ教室を行っているが、市情報を受け取るために、市でも教室等が行えないか。【三川】
・今年は感染対策を行いながらやれることをやっている。８月、９月の行事は中止せざるを得ないが、１１月のはやめカッパ祭りは、地域の沈滞した雰囲気を一掃するために是非とも実施したい。【三川】
・徘徊模擬訓練は、市が中止したとしても校区独自で行うかもしれない。【三川】
・３年も自粛で行事を行わないと、次が立ち上がりにくくなる。【三川】

〇災害復旧に関すること

・災害復旧工事はどのくらい進んでいるのか知りたい。三川ポンプ場が整備される予定だが、また降雨時に被害が出るのではと心配であるため、三川ポンプ場の早期建設をお願いしたい。危機管理上、大切な防災無線がほとんど聞き取れないが、本当に設置してあるのか。【三川】

○防災に関すること

・防災の危機管理には力を入れて欲しい。市民に日頃から防災意識を持ってもらうためにも、防災スピーカーを活用し、決まった時間に音楽を流すなどの取組も、他市にならって検討して欲しい。【三川】

○浸水・冠水対策に関すること

・白川ポンプ場は３基のポンプが稼働し浸水対策をしているが、現在も健老町等が浸水している。早急に白川ポンプ場の第２期工事を検討してほしい。【北別館】
・豪雨災害について、神田町（飛地）は地形上、荒尾市から水が流れ込んでくる。その対策が何もできていない。早急な対策を要望する。【三川】
・関川の護岸工事は進んでいるが、下流域の大牟田市側（諏訪川）は進んでいないようだ。【三川】
・降雨時は諏訪川の水門の活用を検討して欲しい。管理者と災害協定を結ぶなど検討をお願いしたい。【三川】
・７月５日の台風４号による大雨で、旭町では床上浸水し、七浦川が氾濫した。令和２年７月豪雨の際も同様だったにも関わらず、また発生した。修復したというが、状況は変わっていない。「毎回大雨が来るたびにウチは浸かる」という声が上がっている。そういうところから着手をしてほしい。【中央】
・白川ポンプ場の水路が整備されたが、浸水対策として不備がある。スクリーンに大量のゴミが詰まり、流れをせき止め水位が上がり道路が冠水している。詰まり除去のため、市職員が流れの強い中で命綱をしてゴミを取り除いており、危険である。ポンプが機能するよう対策をしてほしい。【北別館】
・高潮対策をしてほしい。高潮被害は、数分で家の一階部分が浸かるような状況になる。また、本市には多くの水門があり、水門を閉める訓練やどれぐらいの時間がかかるのか検討してほしい。【北別館】
・下水道管のバキューム工事が緊急に行われた（説明がなく、車の出し入れができず困った）が、市は蓋のデザインだけでなく、管の詰まりを防止するためバキューム工事に力を入れてほしい。【北別館】
・小浜第一公民館・小浜第三公民館など浸水する（戦災住宅の跡地で地盤が低く、基礎から畳までが低い）ため、排水路を作ってほしいと、５年ほど前に署名・陳情をしているが、回答がない。回答を出してほしい。【北別館】

○組織の加入率に関すること

・まち協（公民館）への加入率の低下が問題。他校区ではどのような工夫をした取組みしているのか知りたい。【三川】
・まち協の加入率の低下が最大の問題。加入するかしないかは自由。街灯代を払わない人が増え、町は真っ暗になるのではないか。まち協設立時は、全世帯の加入を想定していたが現状はそうではない。地域でやることには限界があり力を貸して欲しい。【三川】

〇地域活動に関すること

・校区での活動の紹介。子供たちも、コロナ禍および猛暑で体験活動や遊び等色々な活動ができない状況が続いたため、子供たちにアンケートを取ってやりたいことを募った。コロナ禍において、どのような対策をすればいいのか、どうすれば実現できるか、自分たちで考えて作るという体験をさせている。小さい集まりではあるが、子供を中心とした関わりができているのは意義があると考えている。【中央】

・サロン、子ども食堂に市からお金が出ている。フェイスガード、イオン発生空気清浄機を購入。そういったものを活用して対策を行って地域の活動をしていったらいいと思う。【中央】

〇地域組織に関すること

・まち協等に加入していない家庭の無理解など、防犯灯の費用の徴収に大変苦労している。例えば、九電と交渉して電気代に上乗せする。また、市議会で条例をつくり全市民から徴収するなど将来のまち協存続のため加入対策や仕組みづくりを検討してほしい。【北別館】

・町内公民館の組織の維持が難しい。後継者がいない。役員も毎年同じで、高齢になって引退されていく。会員も高齢化し、自然減少している。また、コロナ禍で公民館事業ができなかったため、会費だけ納めているだけのように受けとられて町内会を辞めるという人も出てきている。行事をしても参加者も少ない。このままの状態が続けば、近い将来公民館は消えていく。これを防ぐ方法はないか苦慮している。【中央】

〇通勤通学・安心安全に関すること

・道路が拡張されているが、まだまだ狭い。宮原中学校に自転車で通う子供がいる。大型車が走るため、子供たちが通る余裕がない。過去に事故で亡くなった方がいたため地域をあげて「道路の拡張を」と声を上げてきたが、10 年たって半分程度と考えている。安心安全な地域が望む道路には至っていない。横断歩道はあっても止まってくれない。議員も地域の方と話をして、道路の作り方、地域にあった道路の在り方を考えてほしい。【中央】

上記の意見・要望等につきましては、市当局に伝えるとともに、真摯に受け止めて善処するよう依頼しています。

また、これらの意見・要望等につきましては、必要に応じて、議会の常任委員会や特別委員会の場などで、議員から直接、市当局に考え方等を尋ねたり要望として伝えたりすることにしています。